



カンムリウミスズメ

# ふれあい

平成24年11月NO8  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

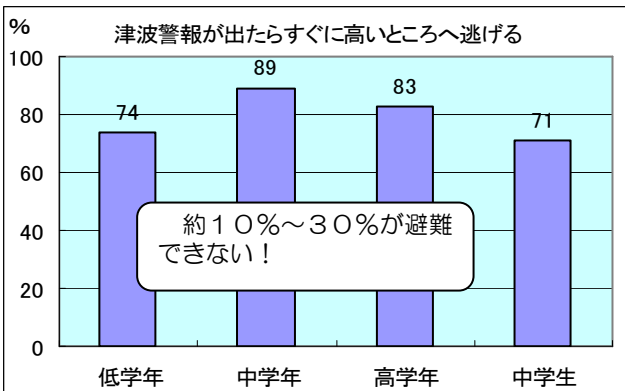
## 2学期を、勉強の秋にしましょう！

今月の「ふれあい」では、研究に取り組んでいる「防災教育」の中から、門川町の子どもたちの「防災に関する意識調査」の結果についての情報と勉強ができるようになるための「テレビやゲームの時間と学力の関係」について、教育研究所からの情報を紹介します。

南海トラフによる大地震・大津波での人的被害を最大限に少なくするカギは、**防災教育**です。今回の調査でわかった子どもたちの防災に関する意識の実態をもとに、これからの防災教育をしっかりと計画し、実践していきたいと思えます。

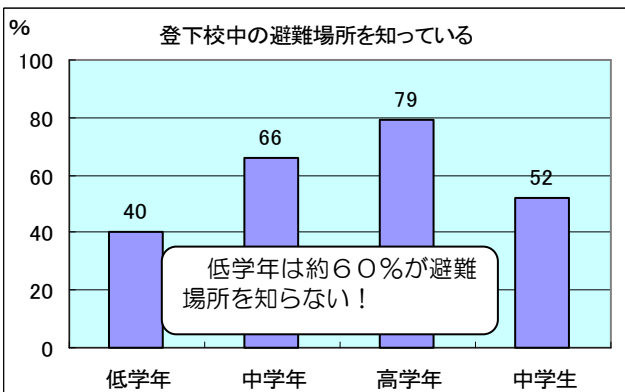
## 予想される大地震・大津波に対する防災意識を高める必要があります！

※ 10月に行った防災意識実態調査の結果から、問題点を紹介します。



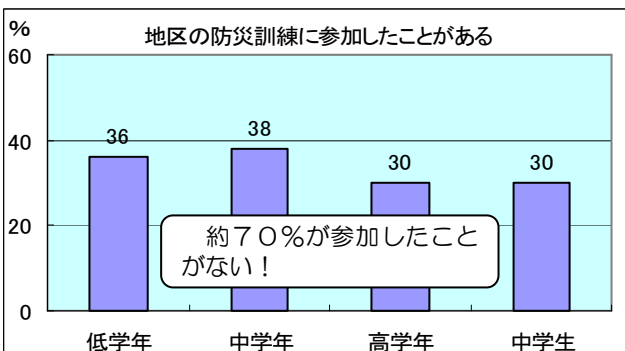
### 思いこみを捨てて、まず逃げよう！

「津波警報が出たら様子を見る」という子どもが小学校で約10%、中学校で約20%いました。「津波は来ないのではないか」という思いこみを捨てて、まず避難することが大切です。また、約5%ほどですが、「親を待つ」という子どももいました。**まず、避難することを徹底する必要があります。**



### 避難場所を知ろう！ 訓練に参加しよう！

**登下校中の避難場所を知らない子ども**は、小学校で約20%~約60%、中学校で約50%いました。また、小・中学校で、約70%の子どもが**地区の防災訓練に参加したことがない**、と答えています。自分の命を守るためには、避難場所を知っていること、日頃から訓練をしておくことが何よりも大切なことです。



### 教育研究所からのメッセージ

今回実態調査を行って、

- ① 地震・津波に関する知識・理解が十分ではない。
- ② 登下校中や近所の避難場所がわかっていない。
- ③ 家庭で地震・津波についての話をしていない。
- ④ 地域の防災訓練に参加できていない。

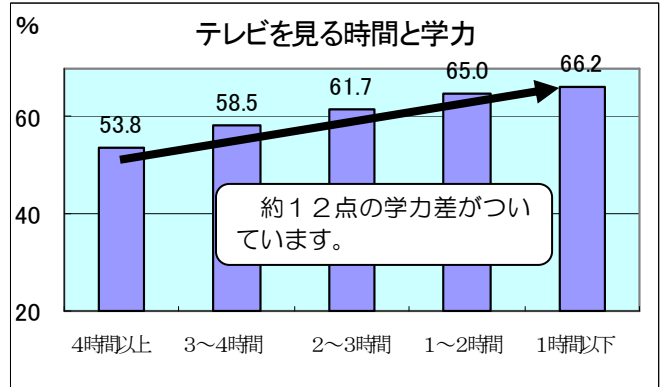
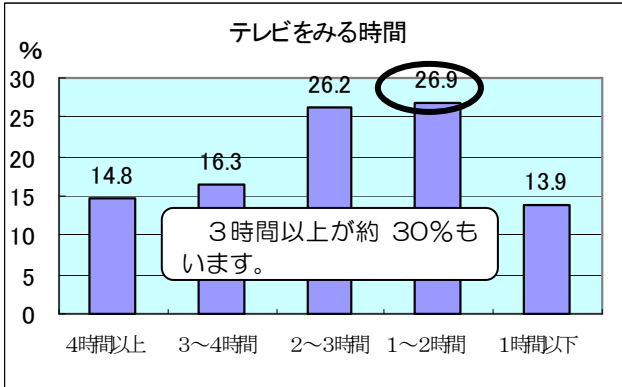
などがわかりました。家庭でも、これを機会に、**わが家の防災について考えてみましょう**

# テレビやゲーム わが家のルールをつくろう！

テレビやゲームの時間が、学力に大きな影響を与えています。

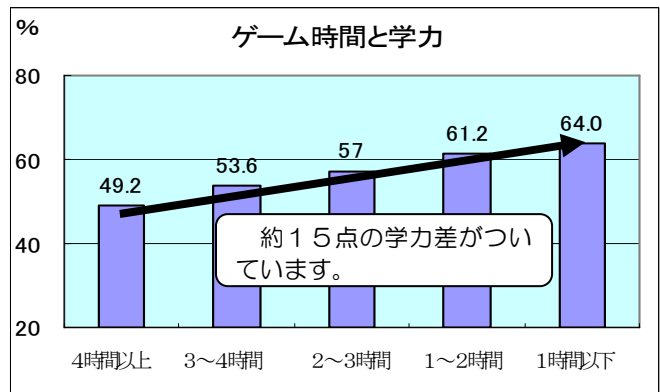
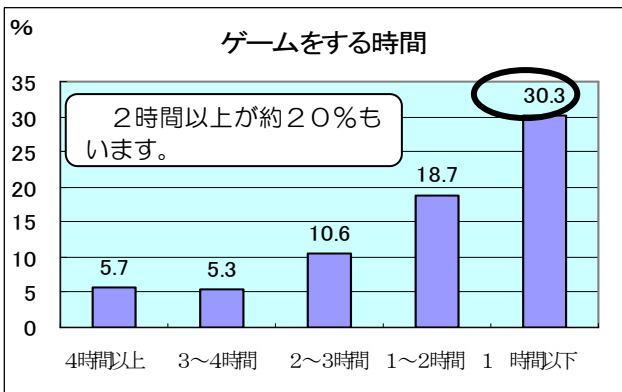
平成24年度全国学力・学習状況調査  
(中学3年生の調査結果から)

**テレビをみる時間が少ないほど、学力が高くなっています。**  
1～2時間程度テレビをみる、という子どもが一番多くいました。



**ゲームをする時間が少ないほど、学力が高くなっています。**

ゲームをする時間は1時間以下、という子どもが一番多くいました。



この調査結果をみると、テレビをみたり、ゲームをしたりする時間が長い子どもほど学力が低いことがわかります。長時間のテレビ、ゲー

ムが学力に影響がする、ということを表わしています。このことから、家庭のルールをつくる必要があることがわかります。

## 教育研究所からのメッセージ

生活習慣は、目に見えない学力と言われてています。テレビをみる時間、ゲームをする時間のルールをしっかりとつくることで学力向上につながります。家庭でのテレビやゲームの時間をもう一度見直して、テレビ・ゲーム中心の生活から、学習を中心とする生活に切り替えるようにしましょう。

## 子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話(門川町教育相談室)  
63-1566

~~~~返信欄(教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。)~~~~